

[成果情報名]ウメ「露茜」結実安定のための受粉樹「南高」の徒長枝利用

[要約]ウメ「南高」の50～150cmの徒長枝は、短・中果枝に比べ開花時期が遅く、「露茜」の開花時期と一致することから、受粉樹として利用できる。

[キーワード]ウメ、「露茜」、「南高」、受粉樹、結実安定

[担当]宮崎県総合農業試験場・果樹部

[代表連絡先]電話 0985-73-7099

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

ウメ「露茜」は果肉が赤く着色し、加工品の原料として利用価値が高いが、開花が他のウメ品種よりも遅いため、「露茜」にあった受粉樹の選定が課題となっている。

「南高」の徒長枝は、短果枝、中果枝よりも開花が遅く、長さの異なる徒長枝で開花時期が異なることが報告されている。そこで、「露茜」および「南高」の徒長枝の枝長ごとの開花期を調査し、受粉樹として利用可能か検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 「露茜」は、概ね「南高」の短・中果枝の開花後に開花し、開花終期が「南高」の徒長枝と概ね同じである（表1）。
2. 「南高」徒長枝は、50cm～80cm、80～120cm、120～150cm のいずれの枝長でも着花するが、1cm当たりの着花数は短いものほど多い（表2）。
3. 「南高」徒長枝は短いものほど早く開花し、様々な枝長の徒長枝を利用することで、より長い間、開花期を確保できる（図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 受粉樹に使用する「南高」の徒長枝は、開花終了後に剪定する。
2. 受粉樹の植栽本数は、「ウメ「露茜」の早期多収生産及び高品質果実供給技術 栽培管理マニュアル」を参考に、「露茜」60本/10aに対して、20本程度（合計80本/10a）を目安とする。

[具体的データ]

表1 「露茜」、「南高」徒長枝および「南高」短・中果枝の開花時期

	品種	開花		
		始期	盛期	終期
2017年	露茜	2月25日	3月8日	3月18日
	南高（徒長枝）	2月2日	-	3月13日
	南高（短・中果枝）	2月7日	2月16日	2月21日
2018年	露茜	2月24日	3月1日	3月14日
	南高（徒長枝）	2月17日	-	3月16日
	南高（短・中果枝）	2月13日	2月20日	3月2日
2019年	露茜	2月12日	2月19日	3月2日
	南高（徒長枝）	2月1日	-	3月1日
	南高（短・中果枝）	1月23日	2月2日	2月9日

注) 「南高」徒長枝は枝長50～150cmの結果をあわせたものである

表2 「南高」徒長枝長ごとの着花数

試験区	枝長 (c m)	基部周 (c m)	着花数 (個)	1 c mあたり着花数 (個)
50~80cm	57.1	5.3	20.2	0.35
80~120cm	103.4	7.2	29.4	0.28
120~150cm	137.7	8.6	20.5	0.15

注) 2018年、2019年の2カ年平均を示す

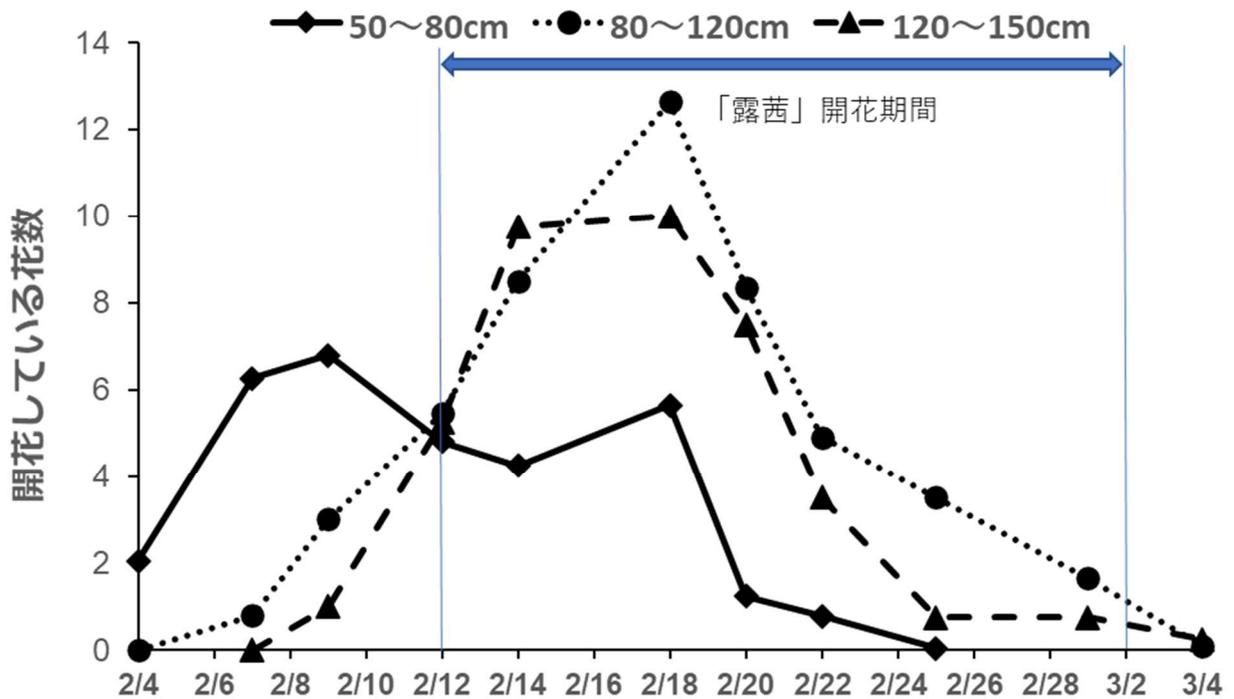


図1 「南高」徒長枝長ごとの開花状況 (2019年)

(松浦 祥太)

[その他]

予算区分：県単

研究期間：2017~2019年度

研究担当者：松浦祥太、城戸皓大、栗野太貴、山口秀一、金丸俊徳

発表論文等：松浦ら、令和2年度九州農業研究発表 (9月 Web 開催)